

令和 3 年度

全国学力・学習状況調査 指宿市結果報告

令和3年度の全国学力・学習状況調査は新型コロナウイルス感染症の影響等を考慮し、実施日程の変更して実施しました。

文部科学省は、全国の小・中学生の学力や学習状況を把握するために、小学校6年生と中学校3年生を対象とした全国学力・学習状況調査を実施しています。指宿市では令和3年度の調査に全小・中学校が参加しました。教育委員会及び市内の各学校では、この結果をもとに実態を把握し、学力向上に向けた取組を更に充実していきたいと考えています。

なお、この調査は小・中学校の実施学年、共に2教科のみの実施であることから、市内の全児童生徒の学力傾向を示しているわけではありません。全体的な傾向と出題された領域での課題を分析するものであることを御理解ください。

【調査実施日等】

(1) 調査の実施日は、令和3年5月27日木曜日

ア 小学校調査

教科に関する調査の調査時間は、国語及び算数それぞれ45分とし、児童生徒質問紙調査も実施した。

イ 中学校調査

教科に関する調査の調査時間は、国語及び数学それぞれ50分とし、児童生徒質問紙調査も実施した。

学力調査

〔小学校〕国語、算数 〔中学校〕国語、数学

(1) 児童生徒に対する調査

ア 教科に関する調査

(ア) 小学校調査は、国語及び算数とし、中学校調査は、国語及び数学とする。

(イ) 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

(ウ) 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

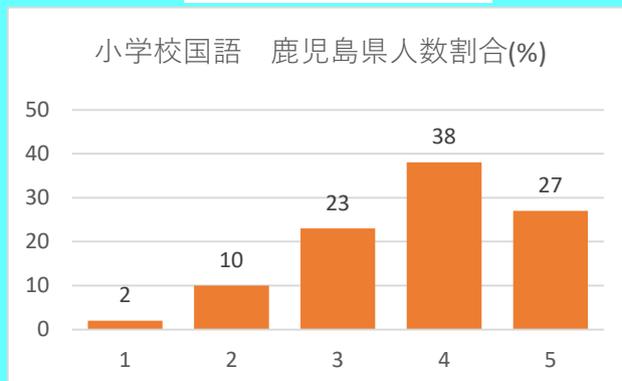
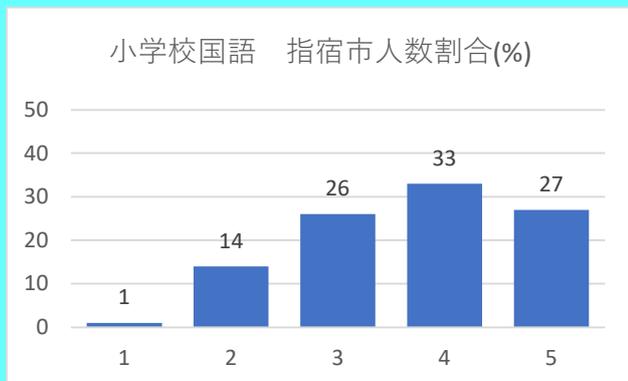
学習状況調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施する。

《結果及び改善策の見方について》

市全体・県全体の平均正答率を5段階に分け、それぞれの段階の集団の割合を棒グラフに表しました。

- 1 ... 0～20未満
- 2 ... 20～40未満
- 3 ... 40～60未満
- 4 ... 60～80未満
- 5 ... 80～100



- ◆ 傾向
- つまずいている設問及び課題

- 改善策

平均正答率 (例)	
指宿市平均	70
県平均	71
全国平均	70

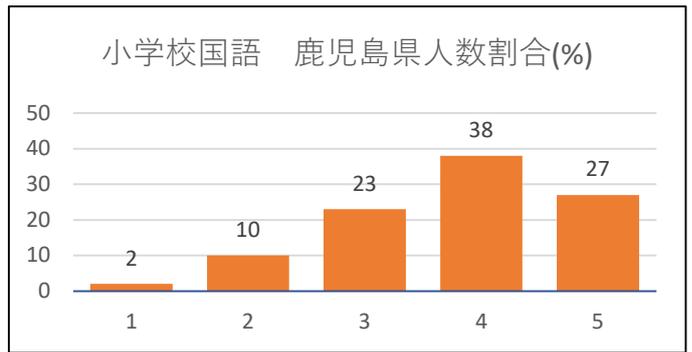
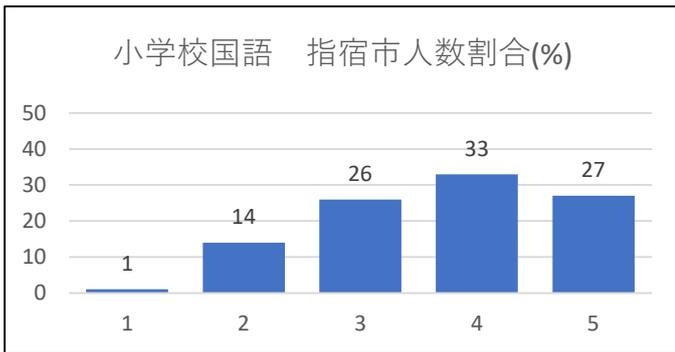
グラフについての分析や傾向を簡潔に述べています。また、該当教科でつまずきのある設問を挙げ、課題を示しています。

今後の改善策を、小中学校のそれぞれの最後に述べています。

指宿市・鹿児島県・全国の平均正答率です。この平均正答率を結果として公表します。

《令和3年度 小学校調査の結果》

国語



◆傾向

3・2段階がやや多い傾向がある。平均正答率では、全国平均と同等であるが、県平均からは3%下回っている。「書くこと」・「読むこと」の領域に課題があり、

記述式の設問については、全校平均と同等の結果となったが、県平均から3%下回っている。

●課題

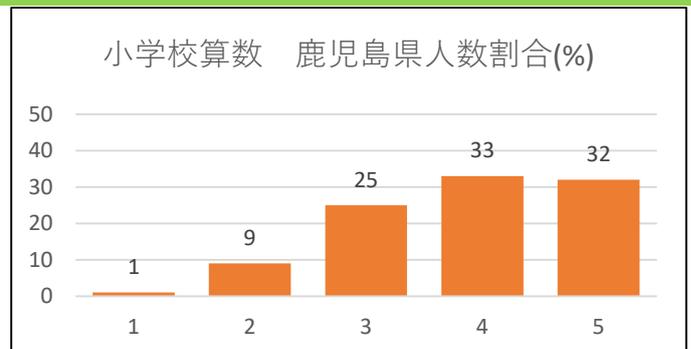
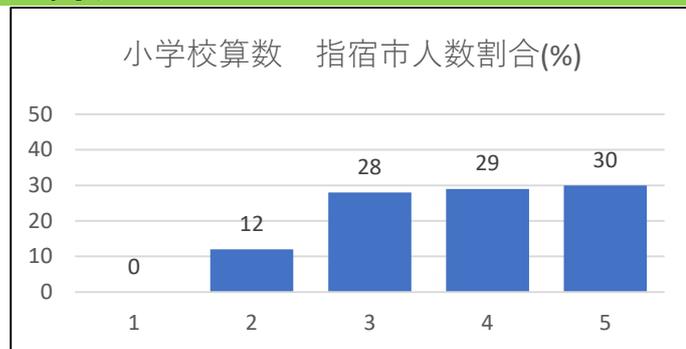
近年の取組の成果が徐々にあらわれてきているが、今後も継続して取り組む必要がある。また、取組についても見直し、児童の実態に応じた取組とする必要がある。

小学校国語 平均正答率	
指宿市平均	64
県平均	67
全国平均	64.7

●改善策

- ・授業力向上に向けた校内研修の充実
- ・「かごしま学力向上支援Webシステム」に掲載問題活用の徹底
- ・PDCAサイクルを用いた各校の学力向上プランへの取組の充実
- ・記述式問題の授業や家庭学習で取組みの充実

算数



◆傾向

平均正答率で、県平均から2%、全国平均から1%下回った。近年、改善傾向にあったが、「図形」・「変化と関係」の領域に課題がある。記述式の設問は県平均には及ばなかったものの、全国平均を上回った。

●課題

1段階の児童がなく、指導の改善が徐々に出てきていると考えられるが、上位層を伸ばす指導を取り入れる必要がある。

小学校算数 平均正答率	
指宿市平均	69
県平均	71
全国平均	70.1

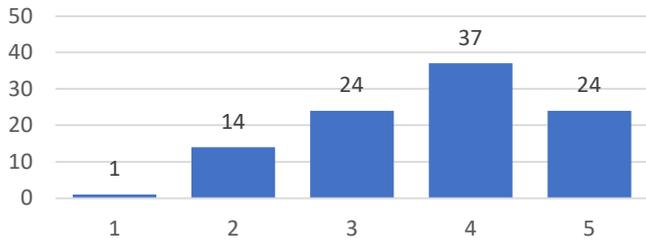
●改善策

- ・授業力向上に向けた校内研修の充実
- ・「かごしま学力向上支援Webシステム」に掲載問題活用の徹底
- ・PC等を用いた個に応じた指導の充実
- ・計算力の確実な定着を目指した取組の充実

《令和3年度 中学校調査の結果》

国語

中学校国語 指宿市人数割合(%)



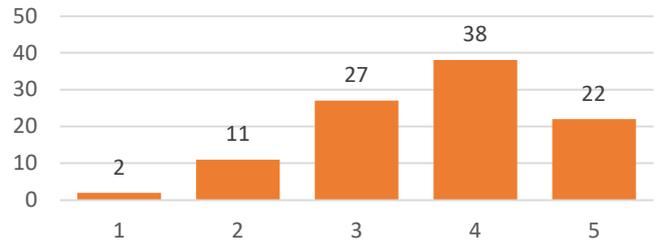
◆傾向

平均正答率で、県平均から1%、全国平均から0.4%上回った。これまでの授業改善が成果となった。観点別の正答率は、ほぼ全国の傾向と同様である。

●課題

ほぼ鹿児島県人数割合と同様の結果となった。今後も、継続した取組により、成果を継続することが課題である。

小学校算数 鹿児島県人数割合(%)



中学校国語 平均正答率

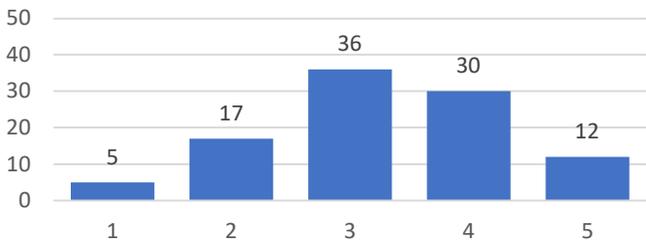
指宿市平均	65
県平均	64
全国平均	64.6

●改善策

- ・継続した授業力向上に向けた校内研修の充実
- ・「かごしま学力向上支援Webシステム」に掲載問題活用の徹底
- ・PC等を用いた個に応じた指導の充実

数学

中学校数学 指宿市人数割合(%)



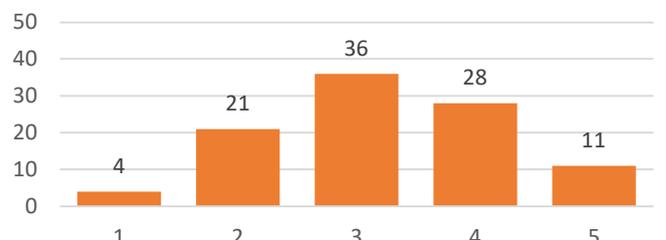
◆傾向

平均正答率で、県平均から2%、全国平均から0.8%上回った。これまでの授業改善が成果となった。観点別の正答率は、ほぼ全国の傾向と同様である。

●課題

ほぼ鹿児島県人数割合と同様の結果となった。今後も、継続した取組により、成果を継続することが課題である。

中学校数学 鹿児島県人数割合(%)



中学校数学 平均正答率

指宿市平均	58
県平均	56
全国平均	57.2

●改善策

- ・継続した授業力向上に向けた校内研修の充実
- ・「かごしま学力向上支援Webシステム」に掲載問題活用の徹底
- ・PC等を用いた個に応じた指導の充実